

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 令和8年3月31日

法人名	社会福祉法人 王慈福祉会	代表者	理事長 胡谷 俊樹	法人・ 事業所 の特徴	「自分らしく生きるを毎日のふつうに。」 王慈福祉会は、高齢者・障がい者・児童など、幅広い分野でのサービス提供を行っています。 十王堂おうじでは、各方面と連携し、いつまでもご利用者様が笑顔あふれる一日を過ごして頂けるような支援や提案を行っています。
事業所名	十王堂おうじ	管理者	中瀬 千春		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括 支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		0人	1人	1人	2人	2人	1人	1人	1人	0人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい挨拶を今後も継続できるような取り組みを続けて欲しい ・職員増員により、統一したケアがどのようにできるか検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい挨拶については特にこだわっており、利用者一人一人、職員一人一人に丁寧に挨拶している。出来ていない場合は、管理者が直接注意している。 ・ミーティング資料を共有し、参加できない職員にも内容を周知している 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのスタッフの方もいつも明るく笑顔で挨拶してくれて、雰囲気がよく居心地がよい ・皆様が挨拶運動に取り組み明るい職場環境に寄与している ・いつ訪ねてもスタッフが明るく丁寧に対応。電話対応もハキハキしている。伝言も復唱しているところが素晴らしい ・職員間の対応の差を解消できる方法を検討してみてください ・ミーティングでの振り返りを通じて、支援の継続性を高めてください ・民生委員や地域活動などの資源を把握・活用し、さらに地域社会と連 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員ごとの対応の差を減らすため、支援方法や声かけのポイントをミーティングで毎月確認し、共有内容を記録に残す。 ・会議に参加できなかった職員にも確実に伝わるよう、共有ノートや回覧で周知し、理解状況を確認する。 ・地域資源(民生委員、地域行事、関係機関)の情報を整理し、必要時に支援へつなげられる体制をつくる。

			<ul style="list-style-type: none"> 携した支援体制を構築してください ・特にありません。挨拶はしっかりしてくれています ・誰に対しても職員の挨拶は徹底されている。情報共有に対しても十分になされている 	
<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・収納しきれない道具などはきれいに並べて置く ・縁側を定期的きれいにしておき、地域の方が座って談話などできるような雰囲気作りを心がける 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内は家庭的な雰囲気を大切に、利用者が落ち着いて過ごせる環境づくりを行っている。 ・玄関や居室は清潔を保ち、来訪者が入りやすい雰囲気を心がけている 	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔な環境を維持している ・曜日によってシーツ交換してくれて泊まっていて気持ちがいい ・玄関・居室が散らかっていることは見たことがなく気持ちがいい ・施設の外も清潔で整えられている ・季節に合わせて飾りがされているので楽しい雰囲気を感じる ・スタッフの自己紹介は親近感がわきます ・荷物の多さは気になりますが、少ない収納空間を活用している。入りきらなかったものについても整理整頓が出来ていると思いますが、外から見えにくいような工夫があってもいいかもしれません ・いつ訪問しても利用者がリラックスして過ごす姿がみられる。環境整備も十分なされており、見習うべき点が多々ある 	<ul style="list-style-type: none"> ・収納しきれない物品は置き場所を見直し、来訪者から見える場所は特に整頓を徹底する。 ・季節感のある飾りや家庭的な雰囲気を継続しながら、利用者がより落ち着いて過ごせる環境づくりを続ける。 ・玄関、居室、外まわりの清潔保持について、職員間で点検する日を決めて継続する。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年開設記念祭を盛大に続け、様々なイベント企画行い地域を活性化する ・地域の方に挨拶行い相談をきく体制と整える 	<p>職員は地域の方に挨拶することを心掛けている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設記念祭などのイベントを開催し、地域住民との交流を図っている ・家族や地域からの相談にも対応できた。常勤職員のうち、相談者を勤務表に記載し、毎日相談できる環境を整えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域ケア会議にも積極的に参加し、地域課題についての住民との情報共有が十分になされている。また、地域行事（こども食堂）でも可能な限り参加し、地域住民との良好な関係づくりができています ・イベントや地域の人との訪問も受けてくれてつながりを大切にしている施設である ・家族が地域の人がいつでも相談できる窓口があり担当者もその日に決まっています安心できる ・交流イベントもあるが普段から地域の方への挨拶を心がけている点が素晴らしい ・自分は人との関わりがあまり好きではない ・明るく気持ちのいい挨拶をされています ・イベントも趣向を凝らし、地域交流に努められています ・地域行事のイベントにも参加されて 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事や交流の機会を継続し、事業所から地域へ出向く機会を年間で計画的に設ける。 ・地域や家族が相談しやすいよう、相談担当者が分かる体制を継続し、周知方法も工夫する。 ・地域との関わりを希望しない利用者の思いにも配慮し、本人の意向に応じた関わり方を大切にする。

			おり、地域に溶け込んでいると思います	
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小地域ケア会議に参加し、地域の悩みや地域の事を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう、通い・訪問・宿泊を組み合わせて支援しているが泊まり需要が多いなど偏りがある ・地域の小地域ケア会議へ参加し、地域課題の把握に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細を承知していませんが、この質問は少し求めすぎかもしれません。この職場は目の前の課題に一生懸命対処している ・地域課題を把握し、事業所でもできる事があれば、積極的に提案するなど、地域住民と一緒に課題解決に向けた意見交換を行ってほしいです ・自宅が山の上にあるのでイベントなど知らないし、参加したくない。あまり地域とは関わってほしくない ・ロングの泊まり希望の本人や家族さんと話し合い、日中に少しの時間でも自宅に戻ったり、地域に足を運ぶことが出来れば、さらにいいと思った ・サービスの組み合わせが出来ている点が素晴らしい ・住み慣れた地域で生活が続けられ 	<ul style="list-style-type: none"> ・通い・訪問・宿泊の組み合わせが本人の在宅生活を支えるものになっているか、定期的に見直す。 ・宿泊に偏りがみられる利用者については、本人・家族と話し合い、自宅で過ごす時間や地域とつながる機会を少しでも持てる方法を検討する。 ・小地域ケア会議等で把握した地域課題について、事業所として協力できることを職員間で共有する。

			るよういろいろな方法を考え、相談に乗ってくれて最善をつくしてくれます	
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者だけでなくケアマネ・職員も参加できるよう心掛ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・2 か月に 1 回、運営推進会議を開催している。 ・事業所の活動報告を行い、地域の意見を聞く機会としている ・事例検討など具体的な地域課題の共有が十分ではない。 ・参加者が固定化している 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は定期的に行われており、地域住民や専門職との情報交換、情報共有がなされている。参加者の固定については致し方ないと考えている ・参加者の固定に関しては、事前に開催日がわかるといいますので調整してはどうでしょうか。多くの職員さんが関わる事で、多くの意見を聞くことができるのではないかと思います ・参加したことがないので、次回参加したいです ・報告の内容や出席メンバーはある程度マンネリ化してしまうが、別の事業所の推進会議にも参加して新しい風を取り入れることもいいかと思います 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議への参加者が固定しないよう、開催日程の早めの案内や声かけを行う。 ・管理者だけでなく、介護職員や介護支援専門員も参加できるよう調整し、多様な意見を取り入れる。 ・活動報告だけでなく、地域課題や事例を共有し、会議で出た意見を実際の運営改善につなげる。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の訓練を重ね、BCP 改善点を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災(火災・津波)訓練を年 2 回実施している。 ・災害時対応マニュアルを作成している。 ・BCP (業務継続計画) 大規模災害訓練を 2 回、感染症訓練を 1 回行い策定を改定できた ・地域と連携した防災訓練は実施できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の安全を確認したのち、利用者の安全を確認し、必要に応じて移動などの手段、方法について随時検討、訓練が行われている。地域と連携した防災訓練に関しては、運営推進会議、小地域ケア会議で提案、相談ができるように始めてはどうかと考える ・BCP や避難訓練は多くの職員が積極的に関わっており、事業所全体の高い意識がよくわかります ・BCP の訓練トータルで 3 回実施しているというのは、基準を上回っておりとても意識が高いと感じました。更に積み重ねていき、実行性の高いものへと近づいていくといいと思います ・地域との合同訓練はハードルが高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災、津波、感染症、大規模災害を想定した訓練を継続し、訓練後は振り返りを行って BCP を見直す。 ・地域と連携した防災訓練は、まず運営推進会議や小地域ケア会議で計画を共有し、参加や協力を呼びかけるところから始める。 ・災害時の役割分担や避難方法を、全職員が理解できるように定期的に確認する。

			<p>と思いますが、どのような計画がなされているかなどを運営推進会議で共有するなどから始めてはどうですか</p> <ul style="list-style-type: none">・とても頼りになります・実際に防災訓練を何回か行ってくださるので安心感があります・地域での防災訓練はないようなので可能ならば地域の人が事業所の防災訓練に参加できる機会があればいいのかなあとと思います	
--	--	--	--	--